

令和4年度 小・中学校人権教育研修C(在日外国人教育) 実施要項

- 1 目的 外国にルーツのある子どもたちの人権をめぐる現状やヘイトスピーチ解消法を踏まえ、多文化共生と人権尊重の観点に立った在日外国人教育を進めるために、学校の果たす役割について認識を深め、違いを認め合い共に育つ学校づくりのための具体的な取組みについて考える。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校の教職員 各市町村1名以上
※受講申込時に、第2回の希望するコースを記入すること

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	9月22日(木) 14:00~17:00	大阪府における在日外国人教育の 現状と課題 実践発表 在日外国人教育を進めるために [講義・実践発表・講演]	大阪府教育庁 指導主事等 府内公立小・中学校教職員 川崎市ふれあい館 館長 崔江以子
2	a コース 10月7日(金) 14:00~17:00	多文化共生の取組みに学ぶ [パネルトーク・協議]	公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任 山根 絵美 NPO法人 トッカビ 代表 朴 洋 幸 特定非営利活動法人とんだばやし 国際交流協会 副理事長 金 和 子
	b コース 10月27日(木) 14:00~17:00	生野コリアタウンに学ぶ [所外見学・講演]	特定非営利活動法人 コリアNGO センター 代表理事 郭 辰 雄 他2人

- 4 会場 第1回、第2回(aコース)
大阪府教育センター(大阪市住吉区荻田4丁目13番23号 電話06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 第2回(bコース)
生野コリアタウン周辺及びKCC会館(大阪市生野区中川西2丁目6番10号)

JR環状線・地下鉄千日前線・近鉄線「鶴橋」駅下車、南東へ約900m

- 5 担当室 人権教育研究室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。
(4) 第2回(bコース)の研修会場等については、別途通知する。
(5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。

1 目的

外国にルーツのある子どもたちの人権をめぐる現状やヘイトスピーチ解消法を踏まえ、多文化共生と人権尊重の観点に立った在日外国人教育を進めるために、学校の果たす役割について認識を深め、違いを認め合い共に育つ学校づくりのための具体的な取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○								○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における在日外国人教育の現状と課題 在日外国人教育を進めるために	大阪府の在日外国人教育の現状と課題について理解する。 ・在日外国人教育を進める際に大切な観点や、教職員に求められる役割について認識を深める。 ・在日外国人の人権にかかわる現状について理解するとともに、多文化共生の観点で取組みを進める大切さについて認識を深める。 ・違いを認め合い共に育つ学校づくりのための具体的な取組みについて考える。	講義を通して、ヘイトスピーチに関する法律や府の条例等を踏まえ、大阪府における在日外国人教育の現状と課題について学ぶ。 ・違いを認め合い共に育つための在日外国人教育の取組みについて実践発表から学ぶ。 ・講演を通して、ヘイトスピーチ等外国にルーツのある人への差別の現状や、差別をなくすための活動を知り、多文化共生社会をめざすために、教職員としてできることを考える。	事前課題 人権教育リーフレット「韓国・朝鮮につながる子どもの人権①②」、「帰国・渡日の子どものための教育①②」を 読んでおく。 ⇒ダウンロード
2	多文化共生の取組みに学ぶ (aコース) 生野コリアタウンに学ぶ (bコース)	・外国にルーツのある子どもの支援や多文化共生教育の在り方について認識を深める。 ・研修を通して学んだことをもとに、多文化共生と人権尊重の観点に立った在日外国人教育の推進について展望を持つ。	・外国にルーツのある子どもや保護者に寄り添った多様な地域の活動に学ぶ。 ・外国にルーツのある子どもの支援や多文化共生教育における地域との連携の在り方について考える。 コリアタウンを訪問し、在日韓国・朝鮮人の置かれた現実や歴史・文化・生活等について学び、学校での取組みにどう活かすかを考える。	